

廿日市市国際交流協会

HATSUKAICHI INTERNATIONAL ASSOCIATION

この会報は、廿日市市国際交流協会および協会で活動するグループの活動報告と会員の交流・会員募集を目的に発行します。

はつかいち PEACE TOUR

in HIROSHIMA 2023

ホストファミリー &

ボランティア募集

8/4 fri. - 8/7 mon.

◆ホストファミリーにお願いすること◆

- ・朝、夕食、寝泊り
- ・場合によっては送迎(応相談)
- ・ホストファミリー説明会への出席
- ・留学生が決定したら留学生との直接のやりとり
- ・8月5日は留学生との思い出づくり

◆ボランティアにお願いすること◆

- ・廿日市中央市民センターでのパーティ準備
- ・パーティでのスタッフ
- ・平和式典、碑巡りへの留学生付き添い
- ・宮島観光に行く留学生の付き添い
(8/5 フリータイムか、8/7 解散後)

◆スケジュール(予定)◆

- 8/4(金) 13時集合、資料館、被爆体験拝聴、
18時~ウェルカムパーティー(廿日市)
- 8/5(土) ホストファミリーとフリータイム
- 8/6(日) 平和式典参加、碑巡り ~16時解散予定
- 8/7(月) 9時~修了式 11時解散(変更の場合あり)

※ボランティアは全日程でもよいですし、1日だけ、部分的なものでも大丈夫です！

3年ぶりに再開した宿泊付きのピースツアー。ご経験ある方も、初めての方も一緒にツアーを成功させませんか？いろいろな国からの留学生を約20名受け入れます。

ホストファミリーの説明会も開催しますので、はじめてのホストファミリーにトライしてみませんか？

ウェルカムパーティーでピースツアーを見てみたいというボランティアさんも歓迎です！

ホストファミリー・ボランティア希望者は廿日市市国際交流協会まで、お問い合わせください。

活動報告

Enjoy English にアドリアニさんが講師に

毎週火曜日午前中に活動をしている Enjoy English にアドリアニ・ムトウマインナ (Adriani Mutamainnah) さんが講師に招かれました。アドリアニさんは広島大学の大学院で基礎生物学プログラム博士課程後期3年生です。インドネシアのマカッサル(スラウェシ島南部)の出身。笑顔がチャーミングなアドリアニさんは、日本が大好きで、コロナ禍でいったん帰国後、日本に再来日されたそうです。

インドネシアは島々が集まった国で、島ごとに文化が違うので、インドネシアを一言で表すのは難しいとのこと。大小多くの島々で構成されるインドネシアならではのですね。

また、スパイスが産出されることから長い植民地時代のあった歴史的背景、特産物などなど幅広い知識で、インドネシアについて2時間ほど英語でお話しをしてくださいました。

メンバーのみなさんも、熱心にメモをとり、さかんに質問をされていました。



授業の最後にメンバーと記念写真！

食べ物についても盛り上がり、アドリアニの好きなインドネシアのスイーツ・バロンコも紹介してもらいました。

国際交流協会でも、インドネシアのスイーツ作り講座なんて良いかもしれないですね。



バロンコ(バナナとココナツミルク、卵、砂糖の入ったバナナプリン風)



熱心に聞き入るメンバーのみなさん

G7 広島サミットおもてなし事業・外国語案内ボランティア活躍！

廿日市市の「G7 広島サミットおもてなし事業・外国語案内ボランティア」の活動が5月17日(水)から始まりました。

この日は、日中は30度を超える暑い日となり、観光客も半そで姿。

コロナ禍以前はアジア系の観光客の方が多かったように思いますが、



英語で話しかけるとホッとした顔をされます！

今回はヨーロッパ、オーストラリアからの方が多く感じます。

最も多い質問は、「平和公園への行き方」でした。また当日、中国新聞の取材もありましたので、お目にした方もいらっしゃるのではないのでしょうか？



赤い法被が廿日市市国際交流協会の目印！

Glory to Ukraine!

ウクライナに栄光あれ!

今年2月23日に廿日市市さえき文化ホールで開催された「さいき杜風(かぜ)コンサート」で、ウクライナから避難されているマリア(MARIA)さんと、ファジリ(FAZILE)さん姉妹が自身の経験を語ってくれました。ニュースでは分かり得ない真実をご紹介します。姉妹の原稿を前編・後編2カ月に分けて掲載させていただきます。

Evening 23.02.

We came from school and work, had a dinner, discussed some plans for the next day and went to bed.

Morning 24.02

We woke up due to the sound of explosions.

Absolute misunderstanding of what was happening, the first question: "What happened? Am I going to work today?" No one could imagine a real full-scale war in the 21st century.

But an hour later, on all news channels, there was an appeal by the President of Ukraine with a message about the Russian invasion.

We try to forget what was happening next with all our might, but this is impossible.

Collecting the most necessary things in the alarming backpacks with an absolute lack of understanding of what exactly needs to be collected.

Then we moved to the shelter, called everyone close to make sure everyone was alive, constantly scrolling the news to realize what was occurring and when it will end.

Sitting in the shelter on 02/24/22, no one could imagine that 02/24/23 would be a year from the start of a full-scale war that Russia unleashed, and which no one knows when it will end.

Thousands of civilians and soldiers was killed, hundreds of thousands of wounded people and millions of broken lives.

The war touched absolutely everyone. Such as babies who were born in the subway, children who learned about the location of bomb shelters in their first day at school, women whose husbands are at war, old people whose children were killed by the Russian military. Bucha, Irpen, Mariupol, Kharkiv, Kherson, Dnipro - these cities are known in the 21st century for fierce battles and bullying of people that Russia has caused and causes.

(to be continued)

2月23日の夕方、私たちは学校や仕事から帰宅し、夕食をとって翌日の予定について話し合い、眠りにつきました。

翌朝、爆発音で目覚めました。何が起きているのか全く理解できず、最初の疑問は「何が起きたの?今日は仕事に行くの??」でした。

21世紀に本格的な戦争がおこるとは誰も想像していませんでした。

しかし、1時間後にはロシア軍による侵攻に関するウクライナの大統領からのメッセージがすべてのニュースチャンネルで流れていました。

その後の出来事は、忘れようとしても忘れることのできないことです。

一体何が必要なのかわかりませんでしたが必要最低限のものを集めて緊急用のリュックサックに入れ、シェルターに移動しました。

近くにいる人に声をかけ全員が活着していることを確認し、常にニュースをチェックして何が起きているのか、いつこれが終わるのかを知ろうとしました。2022年2月24日に、シェルターで座っているときには、ロシアが引き起こした本格的な戦争が1年後の2023年2月24日まで続くとは誰も想像できませんでした。

そして、今なお、この戦争がいつ終わるかは誰にもわかりません。

この戦争で数千人の市民や兵士が死亡し、何十万人もの人を負傷し、何百万人もの人々の人生が破壊されました。戦争はすべての人に影響を与えました。

地下鉄で生まれた赤ちゃん、学校での最初の日に防空壕の場所を知った子どもたち、

戦争に出ている夫を持つ女性、ロシア軍によって子供たちを殺された老人たち。

ブーチャ、イルペン、マリウポリ、ハルキウ、ヘルソン、ドニプローこれらの都市は、21世紀にロシアが引き起こし、そして今も続いている激しい戦闘や人々への迫害で知られるようになりました。

(後半へ続く) 翻訳by通訳ボランティアS.N.さん

イベント情報 2023年6月

日付	内 容	時 間	場 所	対象・定員		参加費	主催
				子供	大人		
1日 15日 (木)	「木曜通訳ガイドボランティア」活動日 ボランティアグループ「木曜通訳ガイドボランティア」の活動日です。活動内容や見学のお問い合わせは事務局まで個別にお願い致します。	9:30 ～ 11:30	廿日市市 市民活動 センター		○ シニア OK	お問い 合わせ 下さい	木曜通訳 ガイド ボランテ ィア
6日, 13日, 20日, 27日 (火)	「Enjoy English」活動日 自主学習グループ「Enjoy English」の活動日です。活動内容や見学のお問い合わせは事務局まで個別にお願い致します。	9:45 ～ 12:00	廿日市市 市民活動 センター		○ シニア OK	お問い 合わせ 下さい	Enjoy English
毎週 木曜	「実践通訳技術養成講座」 同時通訳者・谷本秀康先生による上級の英語クラスです。英語のレベルアップにトライ！ 5/11～	15:00 ～ 16:30	廿日市市 市民活動 センター		○ シニア OK	お問い 合わせ ください	廿日市市 国際交流 協会
毎週 木曜	「中学英語で話せるー英会話入門」 谷本秀康先生による楽しく学べる、英語の学び直しクラスです。※要テキスト 5/11～	18:30 ～ 20:00	廿日市市 市民活動 センター		○ シニア OK	お問い 合わせ 下さい	廿日市市 国際交流 協会
毎週 土曜	子ども英会話「はつかいち Kids' Club 2023」 カリーナ先生による、幼児～小学生を対象にした楽しい45分の英会話クラスです。	9:30 ～	廿日市市 市民活動 センター	○		お問い 合わせ 下さい	廿日市市 国際交流 協会
25日 (日)	Nこうかん会 日本語学習支援者の勉強会。相互研鑽の場です。	10:30 ～ 12:00	廿日市市 市民活動 センター		○ シニア OK	お問い 合わせ 下さい	廿日市市 国際交流 協会
毎週 金曜	日本語教室 さくら	14:00 ～ 15:30	廿日市市 市民活動 センター	○	○ シニア OK	お問い 合わせ 下さい	廿日市市 国際交流 協会
毎週 火曜	日本語教室 言の葉(ことのは)	19:00 ～ 20:30	廿日市市 中央市民 センター	○	○ シニア OK	お問い 合わせ 下さい	廿日市市 国際交流 協会
毎週 木曜	日本語教室 阿品	18:30 ～ 20:00	廿日市市 阿品市民 センター	○	○ シニア OK	お問い 合わせ 下さい	廿日市市 国際交流 協会
17日 (土)	日本語教室 宮島	18:00 ～ 19:30	宮島杉之 浦市民 センター	○	○ シニア OK	お問い 合わせ 下さい	廿日市市 国際交流 協会
1日、15日 (木)	日本語教室 友和	19:00 ～ 20:30	廿日市市 友和市民 センター	○	○ シニア OK	お問い 合わせ 下さい	廿日市市 国際交流 協会
毎週 土曜	日本語教室 日本語ひろば宮内 第1・3土曜 13:30～15:00 第2・4土曜 18:30～20:00	13:30- 18:30-	廿日市市 宮内市民 センター	○	○ シニア OK	お問い 合わせ 下さい	廿日市市 国際交流 協会

※各講座へは事前の申し込みが必要です。 LINE、メール、電話でお申し込みください。 また、やむをえずご案内しておりますイベントの中止、変更などもありますこと、予めご了承下さいませ

編集・発行 廿日市市国際交流協会 Hatsukaichi International Association

〒738-0014 廿日市市住吉二丁目2番16号 廿日市市市民活動センター内

電話：(0829)20-0116 (火曜～土曜 9時～17時)

FAX：(0829)30-3113

ホームページ： <http://hia.hatnet.jp/>

メール： hia21@mx4.tiki.ne.jp



HATSUKAICHIINTERNATIONAL

